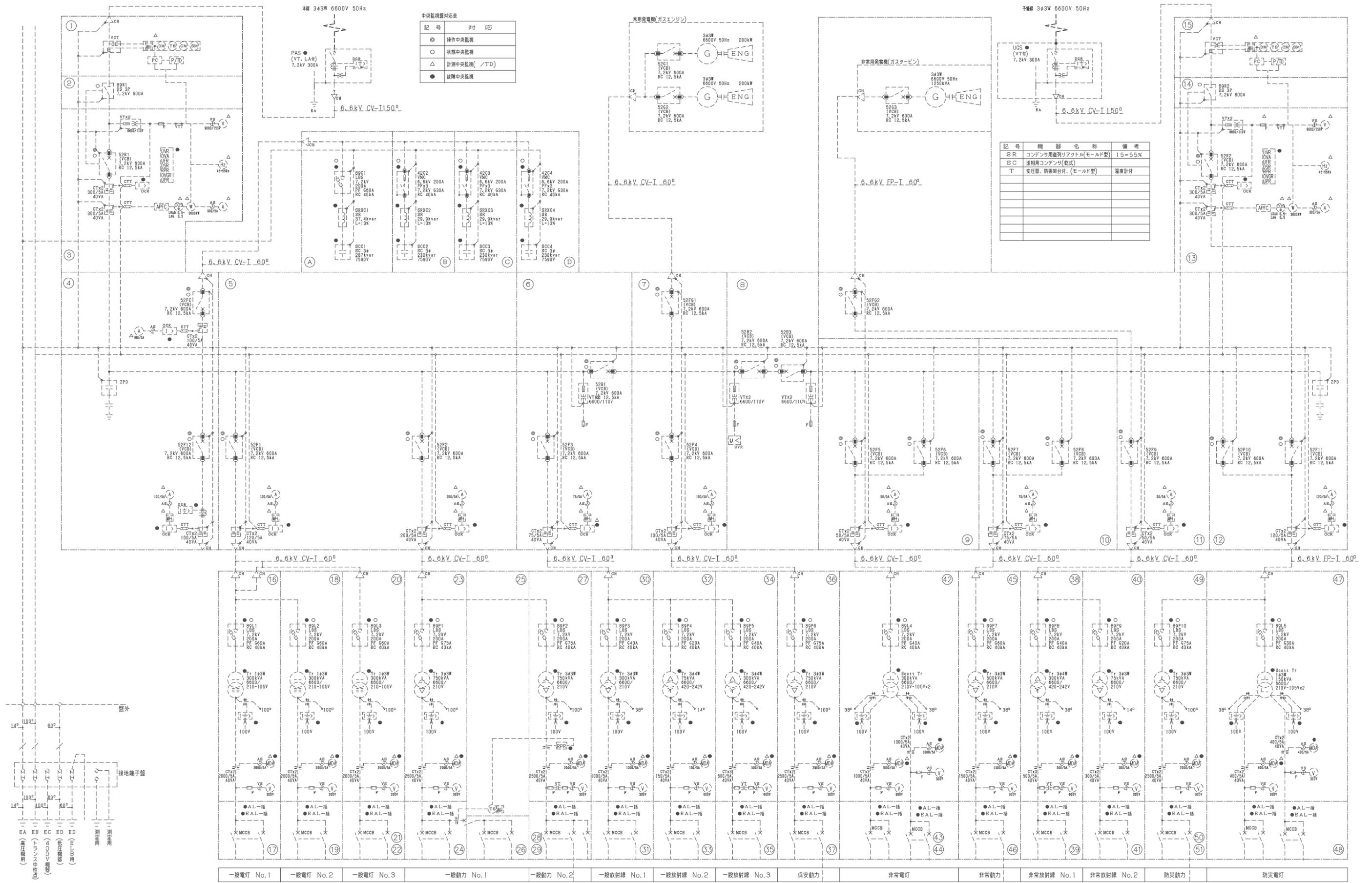








<p>5 防災用照明器具</p> <p>第2編 1.5.1 ～ 1.5.4) [追加]</p> <p>(a)構造一般及び部品 ○ 予備電源別置型の非常用照明は、器具内の送り端子を使用する場合には配線と同様に「東京都建築設備行政に関する設計・施工上の指針2003年版」の耐熱階級を満足すること。 上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し端末配線処理を行う。</p> <p>(b)光源 ランプの予備品 ○ 現用数の5%、ランプ種別毎に最低1個(LED除く)を納入する。</p>	<p>9 改修工事</p> <p>(改修 第1編 1.4.3) [追加]</p> <p>(改修 第1編 1.5.2) [追加]</p> <p>(a)再使用機材 取外し後、再使用する機材 ● 図示による ○ ○ ○ ○</p> <p>(b)事前調査 施工に先立ち、下記の事前調査を行い、監理者に提出する。 ○ 各変圧器の最大負荷容量 ○ 電灯コンセント回路、配線及び負荷容量 ○ 電力制御盤回路の配線及び負荷容量 ○ 制御回路 ● 配線ルート ○ 地中埋設物 ○</p> <p>(c)養生 [追加]</p> <p>(1)養生の範囲 ● 機材搬入及び撤去機材搬出経路 ● 昇降機 ● 既設機器 ● 改修工事後も使用する建築物、設備、備品等 ○ ○ 監理者と協議による</p> <p>(2)養生の方法 ● ビニールシート、合板等 ○ ● 他保管場所へ移動( ○ 既設機器 ○ 備品 ) ○</p> <p>(d)撤去 [追加]</p> <p>(1)施工時間の指定 ○ 建築工事に準ずる ○ 休日 ○ 祭日 ○ 夜間( 時から 時まで) ○ 土曜日 ○ 指定時間( 時から 時まで)</p> <p>(2)撤去前に内容物の回収を要する機器、配管等 ○ 発電設備燃料(燃料タンク、油配管、燃料槽等) ● 場外搬出適性処理 ○ 場内指定場所に保管 ○</p> <p>(3)撤去後の補修及び開口部等の補修 ○ 補修の必要な箇所は図示による ○</p> <p>(4)穴開け及び補修 ○ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けはダイヤモンドカッターによる ○ 貫通場所、口径は図示による ○</p> <p>(e)基礎工事 [追加]</p> <p>機器用基礎 ○ 新設 ○ 既設再利用 既設機器用基礎の補修 ○ モルタル補修 ○ コンクリート充填 ○ 防塵塗装仕上げ</p> <p>(改修 第1編 2.2.3) [追加]</p> <p>(f)仮設間仕切り ○ 建築工事で設置 ○ 本工事で設置</p> <p>(g)仮設間仕切りの種別 ○ A種(軽量鉄骨材料により支柱を組み、両面に厚さ9mmの合板張り又は、厚さ9.5mm石こうボード張りを行い、内部にグラスウール等充填を行う) ○ B種(軽量鉄骨材料により支柱を組み、片面に厚さ9mmの合板張り又は、厚さ9.5mm石こうボード張りにて行う) ○ C種(単管下地を組み、全面シート張りを行う)</p> <p>(h)仮設間仕切りの仕上げ ○ 仮設間仕切りの片面塗装等の仕上げ( ○ 要 ○ 不要 )</p> <p>(i)仮設扉の種類 ○ アルミ製 ○ 鉄製 ○ 木製合板張り</p>	<p>第3編 その他特記補足事項</p> <p>1 結露対策</p> <p>結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。</p> <p>2 放射線防護措置</p> <p>放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。若しくは、その背面および側面に厚さ2mm以上の鉛により防護措置を行う。</p> <p>3 気密性能確保</p> <p>洗浄度ISOクラス7以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。</p> <p>4 遮音性能確保</p> <p>軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。</p> <p>5 指定色塗装</p> <p>露出天井やメッシュ天井上部などに布設するケーブルやケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。 下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。</p> <p>○ 各種プレート ○ 照明器具 ○ 非常照明 ○ 誘導灯 ○ スピーカプレート ○ 監視カメラ ○ 映像音響機器 ○ 自動火災報知感知器 ○ ○ ○ ○</p> <p>6 製造者名</p> <p>納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。</p> <p>7 ウィスカ対策</p> <p>電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。</p> <p>8 OAフロアマーカ</p> <p>OAフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにOAフロアマーカ等にて表示する。</p> <p>9 点検口</p> <p>各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。</p>	<p>第4編 指定メーカーリスト</p> <p>本工事で使用する材料の指定メーカーは下記とする。</p>
<p>6 分電盤、制御盤、開閉器箱、端子盤等</p> <p>第2編 1.8.1 ～ 1.12.8) 第6編 1.4.4 ～ 1.4.7) [追加]</p> <p>(a)キャビネット 屋内設置 ○ 鋼板製( ● 指定色 ○ 標準色 ) 床下、ピット内等湿気、水気の多い場所 ○ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製</p> <p>屋外設置 ○ 一般仕様( ● 指定色 ○ 標準色 ) 粉体塗装+アクリル塗装 または電着塗装+メラミン塗装以上 ○ 耐塩仕様( ● 指定色 ○ 標準色 ) 電着塗装 または亜鉛溶射(アクリル樹脂系塗装) ○ 重耐塩仕様( ● 指定色 ○ 標準色 ) 亜鉛溶射(アクリル樹脂系塗装) ○ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製</p> <p>(b)導電部 ● 幹線はすべて端子台受けとし、幹線表示を行う。 ● 実験盤は分岐回路毎に、負荷接続端子台及び接地線を接続する端子台を設ける。</p> <p>(c)機具類 ● 単相3線式電路に設ける400A以下の配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付とする。なお、過電圧検出リード線の接続点は盤内の中性極導体の末端に近い箇所とする。 ● 電磁接触器は、図示なき場合瞬時励磁式とする。</p>	<p>(改修 第1編 1.4.3) [追加]</p> <p>(改修 第1編 1.5.2) [追加]</p> <p>(改修 第1編 2.2.3) [追加]</p>	<p>第3編 その他特記補足事項</p> <p>1 結露対策</p> <p>結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。</p> <p>2 放射線防護措置</p> <p>放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。若しくは、その背面および側面に厚さ2mm以上の鉛により防護措置を行う。</p> <p>3 気密性能確保</p> <p>洗浄度ISOクラス7以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。</p> <p>4 遮音性能確保</p> <p>軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。</p> <p>5 指定色塗装</p> <p>露出天井やメッシュ天井上部などに布設するケーブルやケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。 下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。</p> <p>○ 各種プレート ○ 照明器具 ○ 非常照明 ○ 誘導灯 ○ スピーカプレート ○ 監視カメラ ○ 映像音響機器 ○ 自動火災報知感知器 ○ ○ ○ ○</p> <p>6 製造者名</p> <p>納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。</p> <p>7 ウィスカ対策</p> <p>電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。</p> <p>8 OAフロアマーカ</p> <p>OAフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにOAフロアマーカ等にて表示する。</p> <p>9 点検口</p> <p>各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。</p>	<p>第4編 指定メーカーリスト</p> <p>本工事で使用する材料の指定メーカーは下記とする。</p>
<p>7 外線材料</p> <p>第2編 1.18.1 ～ 1.18.7) [追加]</p> <p>(a)マンホール、ハンドホール及び埋設標 マンホール、ハンドホール ○ 現場打ち ○ ブロック式 ○ 鉄ふた ○ 化粧用鉄ふた 埋設標 ○ コンクリート製 ○ 鉄製</p>	<p>(改修 第1編 2.2.3) [追加]</p>	<p>第3編 その他特記補足事項</p> <p>1 結露対策</p> <p>結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。</p> <p>2 放射線防護措置</p> <p>放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。若しくは、その背面および側面に厚さ2mm以上の鉛により防護措置を行う。</p> <p>3 気密性能確保</p> <p>洗浄度ISOクラス7以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。</p> <p>4 遮音性能確保</p> <p>軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。</p> <p>5 指定色塗装</p> <p>露出天井やメッシュ天井上部などに布設するケーブルやケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。 下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。</p> <p>○ 各種プレート ○ 照明器具 ○ 非常照明 ○ 誘導灯 ○ スピーカプレート ○ 監視カメラ ○ 映像音響機器 ○ 自動火災報知感知器 ○ ○ ○ ○</p> <p>6 製造者名</p> <p>納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。</p> <p>7 ウィスカ対策</p> <p>電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。</p> <p>8 OAフロアマーカ</p> <p>OAフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにOAフロアマーカ等にて表示する。</p> <p>9 点検口</p> <p>各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。</p>	<p>第4編 指定メーカーリスト</p> <p>本工事で使用する材料の指定メーカーは下記とする。</p>
<p>8 端子盤</p> <p>第6編 1.4.1 ～ 1.4.7) [追加]</p> <p>(a)端子類 ○ 端子板は実装とし、仕様は下記とする。 電話用端子板(○G形)、拡声用(○D形)、インターホン(○D形) その他(○B形 ○D形 ○E形 ○F形 ○G形)</p> <p>(b)UTPパッチパネルの形式は下記とする。 ○ ブロック形 ○ モジュラ形(○PoE機能無し ○ PoE機能付)</p> <p>(c)通信用SPD ※性能は共仕による ○ カテゴリC2 (盤内機器:建物内雷サージ対応) ○ カテゴリD1 (引込み口:直撃雷対応)</p> <p>(d)施工 ○ 端子盤には、該当箇所を明記した系統図を納入する。 ○ 通信配線は、両端末にマークチューブにより配線アドレス表示を行う。 ○ 情報通信用配線は、クローズ型19インチラックとパッチパネルを納品し、ケーブル試験まで本工事とする。 ○ 中央管理室等に設ける総合盤は指定色とし、盤内に機器製作図(A4版)を収納できる棚を設ける。</p>	<p>(改修 第1編 2.2.3) [追加]</p>	<p>第3編 その他特記補足事項</p> <p>1 結露対策</p> <p>結露の恐れがある部分に設置するボックスは、断熱カバーなどの結露対策を行う。また、配管接続部はシリコン系コーキング材を充填し、空気の流通を抑える。</p> <p>2 放射線防護措置</p> <p>放射線使用室の壁に盤、ボックスなどを埋め込む場合、鉛入素材を用いる。若しくは、その背面および側面に厚さ2mm以上の鉛により防護措置を行う。</p> <p>3 気密性能確保</p> <p>洗浄度ISOクラス7以下のクリーンルームに設ける機器、ボックス、電線管等は汚染空気の流入を防ぐため、防塵パッキン及びシール材充填により気密性を確保する。</p> <p>4 遮音性能確保</p> <p>軽量間仕切り壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能にあわせて遮音シートや遮音カバーなどにより、遮音対策を行う。</p> <p>5 指定色塗装</p> <p>露出天井やメッシュ天井上部などに布設するケーブルやケーブルラックは指定色カバー取付けや指定色塗装を行う。 下記機器類は、指定色塗装とする。対象エリアは図示による。</p> <p>○ 各種プレート ○ 照明器具 ○ 非常照明 ○ 誘導灯 ○ スピーカプレート ○ 監視カメラ ○ 映像音響機器 ○ 自動火災報知感知器 ○ ○ ○ ○</p> <p>6 製造者名</p> <p>納入する機器および製品は、原則として、表面に製造者名は表示しない。</p> <p>7 ウィスカ対策</p> <p>電算関連室に設置する材料や機器は、ウィスカ対策が施された材質のものとする。</p> <p>8 OAフロアマーカ</p> <p>OAフロア内に収納している電源接続部や通信接続部をOAフロア床材表面にて認識出来るようにOAフロアマーカ等にて表示する。</p> <p>9 点検口</p> <p>各点検口の裏面には、点検対象物の機器種類・番号などを記載する。</p>	<p>第4編 指定メーカーリスト</p> <p>本工事で使用する材料の指定メーカーは下記とする。</p>



※工事範囲：既設アクティブフィルタ一盤 4面の撤去処分・更新のみを行う。

